パスキーの登録方法（Android）

事前準備

パスキーの登録を行いたい Android 端末（多要素認証の鍵となる機器として登録する端末）を用意します。

※端末が以下の状態であることをご確認ください。

・個人の Google アカウントと連携済みである。

・画面ロック（PIN、パターン、指紋・顔認証など）が設定されている。

※画面ロックが「なし」や「スワイプ」の場合、パスキーを作成できません。

パスキーを登録する

1. ブラウザを開き、Microsoft の「マイアカウント」→「セキュリティ情報」ページにアクセスする。

   ※認証を求められる場合は各自のメールアドレス（****@iwate-u.ac.jp）とパスワードで認証してください。

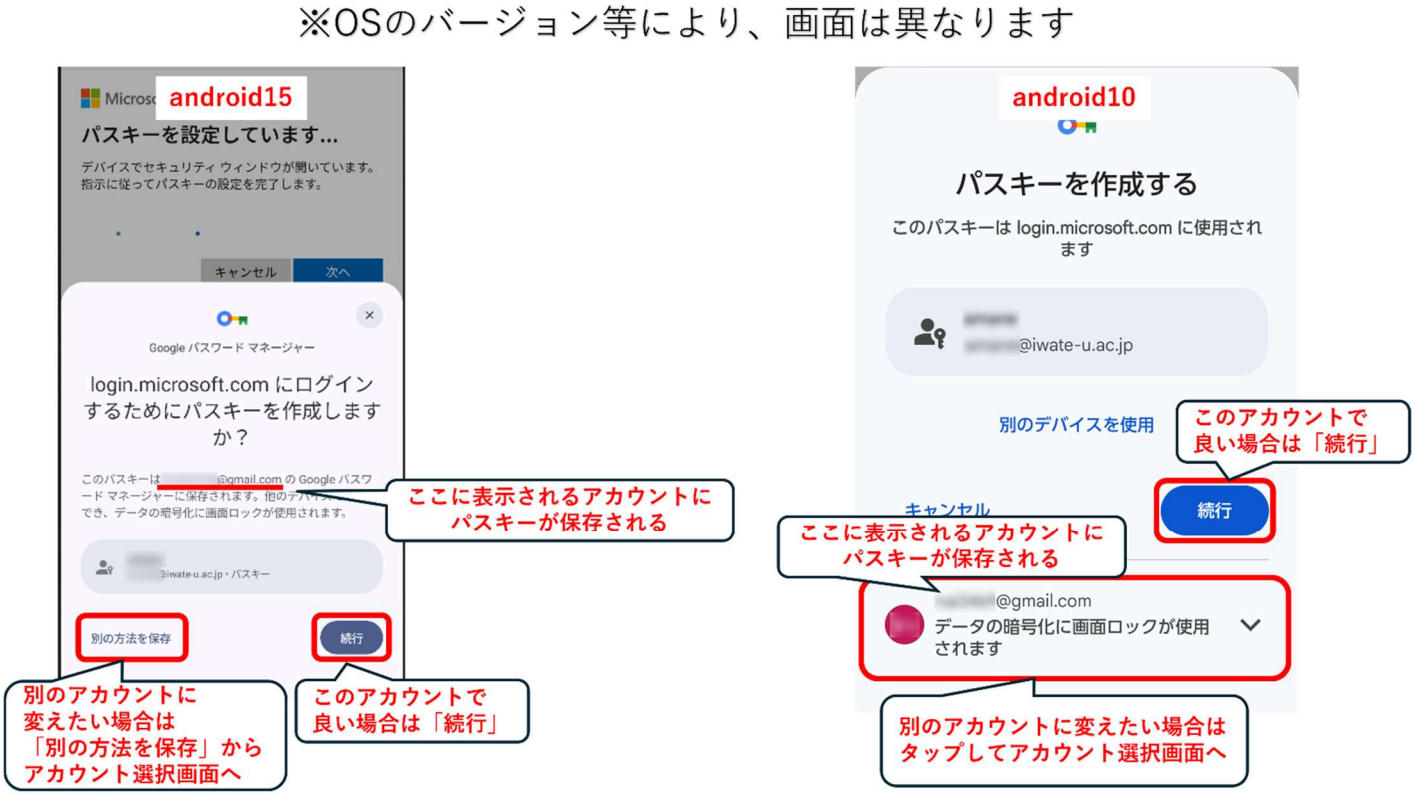
   ※2 台目以降の機器登録時は多要素認証を求められるケースがあります。その際は設定済みの機器の認証情報を使用します。

2. 「サインイン方法の追加」をタップし、「パスキー」を選択。

   「Sign in faster with your face fingerprint or PIN」ウィンドウが表示されるので、「次へ」をタップする。



3. 画面が「パスキーを設定しています…」という表示に切り替わり、その前面に Google パスワードマネージャーのパスキー作成画面が表示される。
※画像は Android 15 と Android 10 のものです。OS のバージョンや機種によって画面の構成が違う可能性があるため、柔軟に対応してください。



表示されているアカウントを確認し、パスキーの対象と保存先が以下の条件に合っていれば「**続行**」、変更する場合は「別の方法を保存」などからアカウント選択画面を表示し変更する。

・パスキーの対象： 大学アカウント（*@iwate-u.ac.jp）**

・保存先： 個人の Google アカウント（*@gmail.com など）**

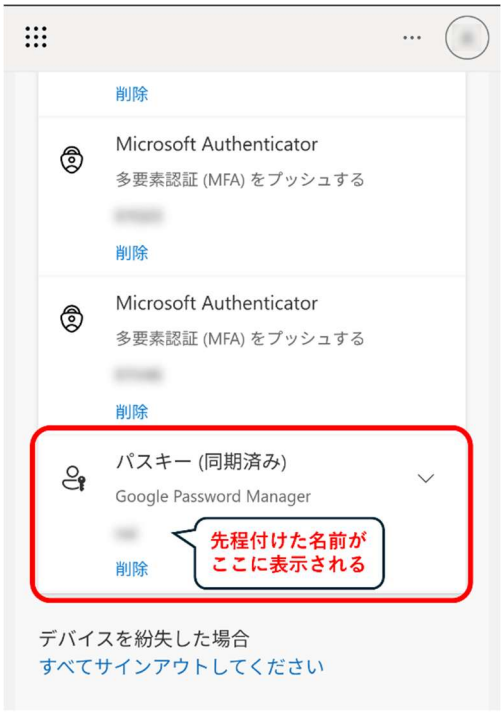
※保存先も大学アカウント（@iwate-u.ac.jp）にしてしまうと、認証の循環（デッドロック）が発生し、登録したパスキーが正常に機能しません。必ず個人の Google アカウントを選択してください。

画面ロックの解除を要求された場合は、スマートフォンの認証情報を使用してロックを解除する。

4. 「パスキーに名前を付けましょう」画面が表示されるので、自分が判別しやすい名前を入力し、「次へ」をタップする。
※未入力の場合はデフォルト名の「Google Password Manager」になります。
「パスキーが作成されました」画面が表示されたら「**完了**」をタップ。



5. 「セキュリティ情報」に「パスキー（同期済み）」という項目が追加され、先程付けた名前が表示されているのを確認できたら設定完了。



認証方法 1

1. 認証登録した情報は、サインイン認証時のパスワード入力後に「ID を確認する」と表示された時に使用する。
   ※異なる画面が表示された場合は、以下のいずれかをタップすると、「ID を確認する」画面に遷移します。
   ・別の方法でサインインする
   ・Microsoft Authenticator アプリを現在使用できません
2. 「顔、指紋、PIN、またはセキュリティ キー」を選択



3. 前面に端末の画面ロック解除画面が表示されるので、画面ロックを解除する。
4. ログインできたら認証完了。

認証方法 2

サインイン時、パスワードの入力画面で「代わりに顔、指紋、PIN、またはセキュリティキーを使用する」というリンクが表示された場合もパスキーを使用可能。
この場合は、パスワードの入力と多要素認証をスキップしてサインインできる。

